



いっっぱい輪姦されちゃいます♡

あなたあ
わたし、これから……♡

不倫上手の 人妻さん♡♡

ニシカタさんトコの奥さんは
他人ち〇ぽに
七転八倒♡♡



「あぁっ♡」

「あんっ♡」

グチュッ♡

べろっ♡

んぶっ♡

んっ♡

「あんっ♡」

グチュッ♡

グチュッ♡

「あぁっ♡」

グチュッ♡

「俺、もう困っちゃったよ」



「……つてことで、いいでしょ？先輩」

「ね、あなたこのひともどう言ってる」

「ね？」



「ごいつパコ」ってる動画見せたら
犯^{ちや}らせる犯^{ちや}らせる、ってしてるわぐてW」

「お友達なんだって
無視できないでしょ？」

「大丈夫っすよ
俺も立ち会っんで」

「あ、ライブしますよ
スマホに啗り付いてて下さうW」

「いや…えと…
君はいろいろ…」

「え〜
しようがないよお」

「この人のためだし…ね？」

「よくできた奥さんっすね
先輩W」

「…」

「あ、えぞ……」

「でもね……」

「やっぱりそれ、
まずいような……はは」

「おい、先輩話してんだろ？
ちゃんと聞けよ」

「ああ……
お、おちんぽお」

「んっ♡
んっ♡
んっ♡」

「すみません
じらしすしかり盛っちゃってw」
「ちゃんと騎けときますんでw」

「んっ♡
んっ♡」

「んっ♡
んっ♡
んっ♡」



「じゃ、今度の休日に
これ、借りていきます」

「あ……♡」

「じゃあ……♡」

「おちんぽお♡」

は〜♡

は〜♡

「あはあ……♡」

は〜♡

「あ、大丈夫つす、
その日のうちにお返ししますんで
おれらもそんな暇じゃないつすからw」



「じゃあ、あなた」

「うっ、まますっ♡」

「あとで連絡しますね先輩」

「あ、あれ!?! 下着…?」

「ま、ま、ま、脱がすんでW」

「おら、もうこんなと
濡らしてんのかW」

「うとに
しょうがねえなW」

「んっ♡
だっ♡」

「あんっ♡」

ハヤ

せんぱあい
お待たせでしたあ

ほれ、
言えw

あ、あなたあ
見てるう？

わたしこれから
輪姦されちゃいます♡

はい、どうしようも
スタンバイおkでえす

小一時間ほど待たされて
つながったビデオ通話

妻はすでに全裸で
男たちに囲まれていた

緊張しているのだから
声の上擦っている

妻の高ぶる鼓動が
こちらまで聞こえてきそうだ



奥さんの痴態で、しっかりと
ちんぽ扱いて下さいね〜w



先輩も
準備できました？

あんっ♡



「始めはうらやま〜」

「んっ♡」

「うほおっ！
待ってましたあっ！」

「んあっ♡」

れろ♡
れろ♡

ぢゅっ♡

んはっ♡

あっ、んっ♡
あはあっ♡

こころが
弱いんだよw

ほら、な？w

イイっ♡
あっ♡

ああっ♡

うわ、ま○い
糞雑魚っw

ビクッ♡

覆い被さる男たちのせいで
妻の体が見えない

かるうじて見える
妻の秘所を
無骨な指が乱暴に
掻き回す
執拗に、たっぷりと

いつつ、おれよりも
妻の弱点を知っている

妻は……
はしたない声を上げ
何度もイカされた

イク♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡
んっ♡



「お〜
いいわw」

「んっ♡
んちゅ♡」



「奥さん
じやぶって?」

「俺も俺もっ!」

「えっ♡」



「ちんぽ好き?」

「…うん」

「これ他人ちんぽだよ?
それでも好き?」

「すきいw♡」



「ね、ほらほらっ!」

「ちよ、ま、
待って順番っ」

「あんっ♡」

「んっんっんっ♡」

「だろ？旦那が
全然仕込んでなかった
みたいでな」

「んんっ

んんっ♡」

♡
んんっ♡

♡
んんっ♡

「あっちゅっべ

すげえイイっ！」

♡
んんっ♡

「ワシが育てたw」

「べっ

そんなんっイっべっ」

♡
んんっ♡

「んぼっんぼっ
んんごっあっ♡」

♡
んんっ♡

♡
んんっ♡

♡
んんっ♡

♡
んんっ♡

♡
んんっ♡

「んっんっ♡」

「べっんっんっ……」

下の口をさんざん責められ
休みなく、次は上の口だ…

妻のうるるんとした唇が、かわいい舌が
他人の肉棒にキスを繰り返す
亀頭から陰囊までいとおしげに舐め回す

肉棒を喉奥まで突っ込まれ
口内に遠慮なく代わる代わる射精され

おれに愛を語っていた妻の口からは
三人分の大量の精液が溢れ出す

とろん、と蕩けたような目
まるで精液に酔っているようだ



「んっおー」

「マミで締まりイイっー」

「ほんっと

中古か?」「っー」

「べっ、べっー」

「くっそー」

「ガバまんとしてやるっW!」

「あゝあ
よがりながら
ちんぽに必死に吸い付いてるW」

「かゝわいW
赤ちゃんみたいW」

「んっんっ
んちゅっっ」

「んちゅっ♡」

「ちゅっ♡」

「ちゅっ♡」

「っっ」

「んっ♡」

「んっ♡」

「ちゅっ♡」

「ちゅっ♡」

「ちゅっ♡」

「ちゅっ♡」

「っっ」

「んっおー」

「んっおー」

「んっおー」

「うたたく先輩が見てるってのに
だらしねえな淫乱妻w」

ジュ〜っ

「あっ
だって、あっ♡」

「だってじゃねえよ
浮気ちゃんぽに
何回イカされた?ん?」

「いっ、いっばいいっ
んあっ♡」

「こんなにエロ汁垂れ流して
ん?寝取られ雑魚ま○こw」

「ぞくぞくすう〜っ

くぞぞくぞくぞくま○こでっしょうううう♡」

ジュ〜っ

「本来○○は、先輩の子供産む
大切なトコなんじゃねえの?ん?」

「うむう〜っ

あかちゃんうむううっ♡♡」

グ
チュ
ッ

グ
チュ
ッ

ぐちゃい♡

ぐちゃい♡

ぐちゃい♡

は〜♡

は〜♡

は〜♡

は〜♡

あ、え〜と旦那さん？
はじめまして
見てますう〜？

ちよつと奥さん
すんごいことになってますよねW？

いいんすか
これW？

まあ、
止めないすけどW



ふふ
そろそろ終わるぞお

持ち主に返さなきゃ

待って
今、最後、うっ！

びんぽん

びんぽん

あゝ満足w

もうお前のに
しちゃえば？

ええ
飼うのめんどいw

何時間も妻を弄び
こいつらは満足したらしい

当然だ
何度おれの妻の穴に
射精したと思ってるんだ

びんぽん

びんぽん

びんぽん

それにしてもよかった……
妻を返してもらえる

もう帰ってこないかと……
ほっとした

「ただいまあ……」

もうとつづくに深夜を超え
朝方に近い頃

妻はぼろぼろになつて
帰つてきた

カチャ

「あなたあ……」

「ん……？」

「わたし……」

「赤ちゃん産みたいな……♡」

誰の……!?!?

ぎゅ……♡♡

とろ……

とろオレ

ぎゅぎゅぎゅ

ふ……

ふ……

